

自己評価（前年度）

※「幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価」のチェック項目を用いて自己評価しています

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価				
データ 分析 表	データ表			データグラフ
	内容	項目数	平均	
	「乳児保育」	15	5.00	
	「3歳未満児保育」	26	4.85	
	「3歳以上児保育」	0	#DIV/0!	
	「教育保育の配慮事項」	16	4.88	
	「健康・安全」	29	4.59	
	「子育ての支援」	18	4.39	
	「職員の資質向上」	9	4.56	
計	113	4.71		
総合 評価	<p>継続した保育が子どもたちにも浸透し、一人一人が積極的に興味・関心のあるものを深めていく様子が見られた。また、乳児だから、、という枠を外し、子どもを観察することで、多くの可能性を感じる事ができた。コロナ禍でなかなか地域との交流が難しいこともあったが、最後の展示会で地域の方にも園の存在を知ってもらうことができ、また新たに開かれた地域との交流を模索していきたい。</p>			

事業計画（今年度の重点目標）

項目	内容
地域とのつながり	コロナ禍で地域との関りが減ってきていたが、緩和されたことで、年度末の展示会に地域の方にも来ていただき、交流をもつことができた。引き続き、園から発信しながら、園での取り組みや存在を知ってもらうよう取り組む
養護と人権	こどもの姿から会議にて周知し、よりよい関わり、保育に努める。「こどもの人権」について考え、関わっていく。
保護者の方のニーズの把握	行事や園での様子を見ていただく機会を定期的にもち、アンケートなどで保護者の方の意見・感想を聞き、よりよいサポートができるよう共有していく。